

甲賀市の新年度予算

市民の暮らしと福祉・教育を守り、地域経済を活性化されるという立場から、甲賀市の新年度予算で、実現したこと・問題点をピックアップしたら…。

実現した主なもの

- 子どもの医療費無料化拡充＝中学校卒業まで通院無料（住民税非課税世帯）
- 住宅リフォーム助成制度＝昨年の補正に続き、当初でも5000万円を予算化
- 有害鳥獣対策事業大幅拡充＝二ホンジカ捕獲のための対策も強化
- 自主防災総合補助拡充＝対前年度倍加。
- 幼稚園の三歳児受入れ＝伴谷・土山・大原・油日・信楽で実施
- 地域包括支援センター信楽と土山で復活
- 防災備蓄倉庫等整備＝原発災害対策拡充

問題点を指摘した主なもの

- 地域情報化基盤整備事業＝議会での十分な審議のないまま市内全戸に「音声告知」を設置
- 庁舎改修整備事業＝耐震不可の水口庁舎の改修を検討。旧町支所・市民センターとの機能分担など全体検証が必要。

●市長・教育長の答弁要旨
消費増税問題では、逆行性は認められたものの税そのものは必要とし、政府の無駄の見直しは不十分と答弁。原発についても安全性に万全を期すことが必要という答弁で問題あり、太陽光発電補助は考えていない。

●中学校の通院医療費拡大は今後検討、住宅リフォームについては昨年度と同額。市民センターは「まちの保健室」開設など機能を充実。水口の新庁舎は、検討委員会の提言に沿って技術的な検討を行い、具体案を提案する中で議会や市民の声を聴き判断する。

●認定こども園は4月1日時点、入園予定者308人、13クラス編成、担任は33人を予定。開園前に3者での話し合いを実施する。

《代表質問》 ◆「税と社会保障の一体改革」、◆原発から撤退し自然エネルギーの普及と低エネルギー社会への転換を、◆24年度当初予算、◆地域市民センター開設から一年の総括と今後のあり方、◆新庁舎建設問題、◆「公立貴生川幼稚園と保育園を残せ」という保護者の声と新施設の疑問点。

議案提案権生かして積極的に意見書提案

主な議案に対する各党・各会派の態度 ○は賛成、●は反対

主な議案	提案	賛成討論	反対討論	日本共産党	清風クラブ	甲政クラブ	正政会	公明党
24年度一般会計予算案	市長	中島・服部	石川・安井	●	○	●	●	○
24年度一般会計予算案を撤回のうえ編成替えを求める動議	葛原章年	石川・今村・小西	的場・脇・加藤	○	●	○	○	●
24年度国民健康保険特別会計予算案	市長	中島茂	小西喜代次	●	○	○	○	○
24年度介護保険特別会計予算案	市長	橋本律子	小西喜代次	●	○	○	○	○
県コミュニティバス運行対策補助金の制度改正を求める意見書	服部治男	討論なし		○	○	○	○	○
防災会議に女性の視点を取り入れることを求める意見書	白坂萬里子	討論なし		○	○	○	○	○
滋賀県中小企業振興条例(案)の早期制定を求める意見書	中西弥兵衛	討論なし		○	○	○	○	○
学校施設の防災機能向上のための新たな制度創設を求める意見書	中西弥兵衛	討論なし		○	○	○	○	○
電力多消費型経済からの転換を求める意見書	中西弥兵衛	討論なし		○	○	○	○	○
放射能汚染から子どもと市民の健康を守る対策を求める意見書	山岡光広	討論なし		○	○	○	○	○
急増するアライグマの実態調査と被害対策の緊急助成を求める意見書	小松正人	討論なし		○	○	○	○	○
国のすすめる「社会保障と税の一体改革」の中止を求める意見書	安井直明	小西喜代次	加藤和孝	○	●	▼△	●	●
衆院議員の比例定数を80削減することに反対の意見書	安井直明	小松正人	石川・加藤	○	●	●	●	●
父子家庭支援策の拡充を求める意見書	加藤和孝	討論なし		○	○	○	○	○
新基地建設計画の撤回・普天間基地の「即時閉鎖・返還」を求める意見書	小西喜代次	山岡光広	村山庄衛	○	●	●	●	●
TPP交渉への参加撤回を求める請願	JAこうか等	辻重治	森嶋克己	○	○	○	▼△	○

甲政クラブの△▼＝土山定信・葛原章年両議員が賛成。正政会の△▼＝田中新人議員のみ賛成。敬称略。

日本共産党甲賀市議員団は、議案提案権を生かして6件の意見書を提案。このうち放射能汚染、アライグマ対策を求める意見書は全会一致で採択。しかし国政の焦点となっている税と社会保障の一体改革や衆院定数削減、沖繩の基地問題に関する意見書は賛成少数で不採択となりました。TPP交渉への参加撤回を求める請願は採択されました。また一般会計予算案に対する動議も提出されました。採決結果は次の通り。



安井直明議員が代表質問

暮らしは大変 願い実現へ

安井議員は、「社会保障と税の一体改革について」、原発から撤退し自然エネルギーの普及と低エネルギー社会への転換をと市長に質問。その後、

次の項目を質問しました。
問 太陽光発電などへの市独自補助を。
問 新年度予算は財政が少し豊かになった。無駄をけずり、中学校通院医療助成事業は55万円、拡大せよ。喜ばれている住宅リフォームも5千万円だ、拡大すべき。
問 市民センター開設から1年、今後の在り方は。
問 新庁舎建設はあまりに

も急で広く市民の声を聴き総合的な検討をすべきだ。
問 貴生川保育園・幼稚園問題は、大阪高裁へ即時抗告が行われるが、両面から考えておくことが必要だ。今後の対応と新施設の体制を問う。

新年度予算案などを審議する3月定例会議は2月22日から3月23日まで開かれました。日本共産党甲賀市議員団は安井直明議員が代表質問に、また山岡光広・小松正人・小西喜代次の各議員（発言順）が一

般質問にたち、市民の切実な願い実現と市政の問題点を指摘。予算特別委員会、常任委員会などでも各議員が積極的に発言しました。安井議員の代表質問（写真Ⅱ3月1日）と答弁の骨子は次の通り。

日本共産党

甲賀市議団ニュース

2012年 3月31日 NO. 108



安井 直明
土山町前野 541
Tel 67-0147
Fax 67-1660



小松 正人
水口町名坂 128
Tel 62-9652
Fax 76-0150



山岡 光広
甲南町森尻 16
Tel 86-2985
Fax 86-0415



小西喜代次
信楽町勅旨
Tel 83-0765
Fax 83-0765

山岡光広・小松正人・小西喜代次議員が一般質問

一般質問には、16名の議員が質問にたちました。山岡光広、小松正人、小西喜代次の各議員（発言順）が、実な市民の要求実現へ実態調査をもとに迫りました。切

山岡光広議員



◆県立養護学校で学ぶ医療ケアが必要な子どもの通学保障、◆国民健康保険制度の改善へ（滞納に対する強権的な徴収と差押え、一部負担金の減免拡充）、◆公共施設のゴミ収集と今後の課題、◆同和行政終結にむけた課題

問 医療的ケアが必要な子どもは保護者が毎日県立養護学校に送迎している。県と市が連携して、少しでも保護者の負担軽減を。教育長 まずは県が福祉・医療・教育の観点から課題を整理され、要請があれば市も協議に参加し（改善へ）検討していく。
問 ここ数年差押えが急増している。国保税などの滞納者に対する差押えの場合、給与は一定額が禁止されている。ところが預貯金は給与が原資であることが明確なのに差押えされている。実態に見合った改善を。総務部理事 滞納者の財産や生活状況ができる限り調査し、個別具体的な対応を行っている。差押え処分の財産調査で、預貯金の原資が給与や年金であった場合は、換価までに一定の期間を設け、生活費を確保するなどの対応を講じている。
問 国保の一部負担金の減免、利用は？市民環境部長 免除2件、徴収猶予9件。
問 厚労省が示すQ&Aに基づき拡充を。市民環境部長 拡充は考えていない。
問 公共施設の見直し、直営化を。総務部理事 可燃・不燃・資源ごみなどなどあり、すべて直営化は難しい。

小松正人議員



◆傷みの激しい市道の補修整備、◆水口町名坂地域の主要幹線道が凄まじい劣化状態にある、緊急改修整備計画について問う、◆市道松尾・東名坂線の道路改良、◆古城が丘市営住宅の建設計画について

問 傷みの激しい市道、整備のあり方は。市長 整備基本計画を24年度に見直す。建設部長 今後の道路計画は、優先順位を定めているが、危険度の増した市道は、順位を見直し、予算確保で補修対応する。
問 名坂地区内の主要幹線「名坂・的場線」「名坂線」「名坂・本綾野線」は、路面の段差、横断溝の衰損劣化で振動がひどい。主要3路線の緊急改修整備を求め。建設部長 舗装段差と振動で近隣の方に迷惑をかけている。優先的に対応する。
問 甲賀病院が新しく開院されると通行量が増えると予想される市道松尾・東名坂線は勾配が急で狭く見通しが悪い。路盤を切り下げ道路の拡幅、南側の歩道設置を。建設部長 現時点では計画していない。
問 古城が丘市営住宅の建設計画の遅延理由は何か。入居する高齢者に配慮した低家賃で低コストの木造住宅を建設せよ。建設部長 県営との一体建設計画が見直しになったこと、また公営住宅法の改正で、整備基準は市の裁量で可能となり、良質で低コストの可能性を探る。
問 木造建ての先進事例はあるか。建設部長 事例を収集する。

小西喜代次議員



◆信楽高校分校化の白紙撤回を求める、◆実態に見合った第5期介護保険事業計画の策定を、◆信楽地域の公共交通の改善を、◆高齢者に公共交通の無料制度の導入を求める、◆国道307号バイパスの早期着工にむけての取り組みを

問 「信楽高校を守る会」では4月に県に要請を予定されている。市長として県への要請が必要ではないか。市長 新年度早々に要望したい。
問 第5期介護保険事業計画で、特別養護老人ホームなどの施設整備計画は必要な方が入所できる計画になっているか。健康福祉部長 介護度が重度の方の優先入所と特別養護老人ホーム以外の入所施設で対応する計画となっている。
問 信楽の雲井地域市民センターへの小型バスの運行、雲井地域から長野への直行バス、帝産バス増便要望の進展状況はどうか。総合政策部長 新たなコミバスの運行は考えていない。帝産バス増便要望には連係時刻表への掲載など側面的支援を行う。
問 高齢者に公共交通の無料制度を。総合政策部長 合併前の旧信楽町では、70歳以上の高齢者に信楽高原鐵道の回数券を交付していたが、合併時に廃止した。現状では無料バスの配布は困難と考えている。
問 国道307号バイパスへの市の対応は。市長 早期完了に向けて事業協力していくが、地元地権者の用地提供などが何より、と考えている。



東日本大震災・福島原発事故から1年

未曾有の被害をもたらした東日本大震災・福島原発事故から1年目の3月11日、大津の膳所公園で「ばいばい原発 守ろうびわ湖」と題して1000人が集いました。危険な原発をなくすことこそ最大の防災対策です。